

取組の概要

取組の概要 : 施設野菜(トマト)産地の形成の推進
 計画作成主体 : 三原市農業再生協議会
 対象品目 : トマト(産地面積:2.48ha)
 主な取組主体 : (株)広島アグリネットファーム
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業(生産技術高度化施設(高度環境制御栽培施設))
 状況 : 生産支援事業(ヒートポンプのリース導入)

ポイント

高度環境制御栽培施設の導入により周年生産に取り組み産地化を図る。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 0.93ha
 販売額 : 14,354千円

〈目標:H32年度〉

作付面積 : 2.48ha
 販売額 : 171,809千円



推進体制

地域の関係者(三原市・三原農業協同組合・広島中央農業協同組合・広島県)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 生産実践研修を中心として新規就農者を育成。
- ビニールハウスのリースにより新規就農者等を支援。
- トマト産地協議会を活用した「三原トマト」のブランド化。

事業効果

- 高度な環境制御技術の導入により、高品質トマトの安定生産体制が確立され、産地のトマト販売額が向上。
- 生産実践研修により新規就農者を育成し、栽培面積が拡大。
- 生産者・流通業者が連携して新たな販路を確保し、三原トマトのブランド化。

～トマトの販売額～

